



朝風

No.20

令和7年3月7日
朝日中学校通信



朝日中 HP QRコード

☆令和6年度 第35回卒業式 式辞より



(前略)…さて、卒業生のみなさん、卒業おめでとう。35年という朝日中の長い歴史の中に、みなさんが在籍していたこの3年間の月日が新たに刻まれ、それぞれが、総勢3,369名の卒業生のひとりとして、名前を残すこととなります。入学から皆さんは、「未来で生きる人間力」を磨くため、様々な行事や日々の授業での課題に対して、常に意識を前において、仲間とともに何度も挑戦し、支え合い、乗り越えてきました。日常での皆さんの熱心に取り組む様子や心の温かさ、やさしさに感動し、こちらが勇気をもらったことが何度

もありました。そんな皆さんの卒業にあたって、はなむけの言葉を送りたいと思います。

一つ目は、「**続ける**」ということです。学習面やスポーツ、習い事などで、いろいろと達成したいことがあると思いますが、そんなに簡単にゴールへたどり着けないことが多いと思います。そんな時、「続ける」ことが大切なのですが、これが簡単そうに見えて、実はとても難しいのです。ですから、**隙間の時間でいいので、自分で決めたことを毎日続けてください。「継続は力なり」**です。そうすれば必ず大きな成果につながります。

二つ目は、「**前を向く**」ということです。皆さん、今まで思い通りの人生でしたか。校長先生は山あり谷ありでした。そんな時は、いつまでも引きずらないで、気持ちを切り替えることです。**過去と他人を変えることはできません。でも、未来と自分は変えられます。過去より未来にエネルギーを使ってください。**きっとその方が楽しい時間が増えると思います。

三つめは、「**自分で決める**」ということです。他人の意見や価値観は尊重すべきです。でも、**人の評価や言うことばかりを気にして右往左往しては、自分の人生を生きていることになりません。**社会的な成功は人の評価かもしれませんが、幸せかどうかは自分で決められます。あなたの人生です。**自分らしく生きていきましょう。**

世の中の変化はとても速く、十年後や二十年後は、きっと今はまだ想像できないような未来だと思えます。そこで必要なことは、変化に対応できるしなやかな知性と心です。ぜひ、その未来で皆さんがその変化を起こしたり、牽引する存在になってほしいと思います。そして、朝日中学校での学びが、皆さんの力になることを祈っています。さあ、いよいよ旅立ちの時です。はるかな行く道を、どうか、**支えてくれたすべての人々に感謝する気持ちを忘れず、母校朝日中学校を誇りに、歩いて行ってください。**

最後になりましたが、朝日中学校に来てくれてありがとう。卒業生の前途に幸多かれと祈り、式辞といたします。

卒業、おめでとう
令和七年三月六日

朝日中学校長



☆教育長告辞

(前略)…さて、卒業生のみなさん、中学校の三年間、みなさんは学び、挑戦し、幾多の経験を重ねることで大きく成長しました。その中でみなさんは、知識を深めるだけでなく、仲間との関わりや試行錯誤を重ねながら「創造力」や「共感力」、「困難に立ち向かう力」などの『人間力』を培いました。そしてそのような『人間力』は、これからみなさんが予測困難な未来を切り開いていくうえで支えとなる、大切な力となるはずです。今後も、中学校での経験を土台に、『人間力』を更に高め、自らの可能性を広げていってください。ただ、『人間力』は短時間で、そして簡単に身に付くものではありません。そのため、一日一日を大切にすることが重要です。今年の夏はパリオリンピック、パラリンピックが開催されました。日本の選手団は、パリオリンピックにおいて、金メダル数、メダル総数ともに海外で開催されたオリンピックでは過去最多を記録しましたが、メダル獲得の有無に関わらず、また、国籍を問わず、参加している選手の頑張りに、みなさんも大きな感動を覚えたことではないでしょうか。そして、集中力を極限まで高め、自身最高のパフォーマンスを発揮しようと競技に取り組む選手のみなさんは、「今、この瞬間」に全力で向き合うことの大切さを私たちに教えてくれたように思います。

みなさん、「前後際断」という言葉を知っていますか。この言葉は、「過去や未来にとらわれることなく、今、この瞬間に全力を尽くす」という意味を持ちます。みなさんも、これからの人生で、困難や新たな挑戦が求められる場面に直面することがきっとあります。そのとき、過去の栄光や失敗に捉われず、また想像でしかない未来の不安に怯えたり、立ち止まったりすることなく、「今」に集中し力を尽くしてください。

そして、オリンピックで忘れてはならないのが、スポットライトを浴びる選手達を陰で支えたボランティアの存在です。パリ大会では、およそ四万五千人の方が大会を成功させるため、無償で貴重な時間とエネルギーを捧げ、会場の運営や選手のサポート等に尽力しました。みなさんの周りにもそういった方が多くいます。そういった方々の存在に気づき、そして感謝を忘れない人でいてください。その思いが、みなさんをさらに成長させ、より大きな目標へと導いてくれるはずです。

最後に、卒業生のみなさんが、それぞれの新しい舞台で、輝かしい歩みを進められることをご祈念申し上げまして、朝日町教育委員会の告辞といたします。



令和七年三月六日

朝日町教育委員会

教育長

☆卒業生答辞

今年度の卒業式も、在校生(2年生)が参列できました。厳粛な雰囲気の中で式が進行し、最後の合唱はとても素晴らしく、感動のうちに式が終了しました。ここで、卒業生の言葉を一部抜粋してご紹介します。

(前略)私たちはこれから新しい場所で、新たな仲間と出会い、それぞれの道を歩んでいかなければなりません。心を共にした仲間と離れることに大きな不安はあります。ですが、たとえ離れ離れになったとしても、私たちの心はいつまでもどこまでも強い絆で結ばれているのだと信じています。未来にどんなことが待ち受けていようと、私たちは希望に満ち溢れた虹を架けることができる。自分の力を信じて、仲間との絆を信じて、私たちは新たな日々へと旅立ちます。



最後に、今まで支えてくださった全ての方々へ感謝し、朝日中学校がこれからも笑顔溢れる場所でありませうお祈りして、答辞といたします。

中学校での素敵な思い出とこれから歩いていく未来への決意を新たにした立派な答辞でした。本校で鍛えた人間力を次のステージで遺憾なく発揮していってください。皆さんに幸多かれと願っています。